

CS放送・朝日ニュースター

各党はいま

(月～金曜日午後3:30～4:00)
(月～金曜日午後10:15～10:45)

沖縄の米軍ヘリ墜落事故や民主党内の安保論議、国連安保理常任理事国入り問題など、この秋は外交・安保論議が高まる気配だ。

ヘリの墜落現場を視察した社民党の福島党首は「米軍は墜落現場の土壌も持って行ってしまった。小泉首相は墜落当日に映画鑑賞していた。沖縄の人たちは、とても怒っています」。

公明党の太田昭宏幹事長代行は「日米地位協定は運用改善では済まない。改正に踏み込むべきだ。野中さん（広務・元官房長官）が引退するなど沖縄問題に熱心な議員が少なくなった。若い世代が沖縄問題につい

永田町に届かぬ沖縄の声

てもっと発言すべきだ」。

民主党の安保問題のエキスパート長島昭久衆院議員は「恐れていたことが現実になった。普天間の移転を急がねばならない。私は嘉手納空軍基地に統合できると確信している。米軍は猛烈なスピードで再編成を進めている。日本政府は独自の再編案をまとめて交渉すべきだ」。

外交・安保問題が大きく動いているのに、自民主党内の最大関心事は内閣改造。臨時国会も10月半ばまで開かないという。沖縄の声は永田町に届いていない。

編集委員・星 浩